

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成29年2月9日 (2017.2.9)

【公表番号】特表2016-514221(P2016-514221A)

【公表日】平成28年5月19日 (2016.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2016-030

【出願番号】特願2015-552607(P2015-552607)

【国際特許分類】

E 0 4 F 15/02 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 4 C 5/04 (2006.01)

【F I】

E 0 4 F 15/02 A

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 4 C 5/04 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月27日 (2016.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デジタル液滴塗布ヘッド（30'）によって表面（2）上に塗布された液体プリント（P）に結合するためのマクロ着色剤粒子（64）を備える乾燥インク（15）であって、前記マクロ着色剤粒子（64）は、それぞれ、粒体（66）と、前記粒体に結合される乾燥樹脂と、前記粒体（66）に結合される着色顔料（12）とを備え、前記乾燥樹脂は、前記マクロ着色剤が前記液体プリント（P）と接触した状態になると溶融し、前記表面（2）に前記マクロ着色剤（64）を結合するように適応される乾燥インク（15）。

【請求項 2】

液体プリント（P）は、水、グリコールおよびグリセリンの少なくとも 1 つを含む、請求項 1 に記載の乾燥インク。

【請求項 3】

前記マクロ着色剤粒子（64）は、20 ミクロンより長い直径または長さを有する、請求項 1 または 2 に記載の乾燥インク。

【請求項 4】

前記粒体（66）は、鉱物粒子（63）または繊維（61）または熱硬化性樹脂（13）である、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の乾燥インク。

【請求項 5】

前記粒体（66）は、酸化アルミニウム粒子（63）である、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の乾燥インク。

【請求項 6】

前記粒体（６６）は、木質繊維（６１）である、請求項１から５のいずれか一項に記載の乾燥インク。

【請求項７】

前記粒体（６６）は、熱硬化性樹脂（１３）でコーティングされる、請求項１から６のいずれか一項に記載の乾燥インク。

【請求項８】

前記乾燥樹脂は、メラミンホルムアルデヒド樹脂（１３）である、請求項１から７のいずれか一項に記載の乾燥インク。

【請求項９】

前記マクロ着色剤粒子（６４）は、前記着色顔料（１２）を前記粒体（６６）に結合させる第１の層と、前記乾燥樹脂を含み、前記第１の層上に塗布される第２の層とでコーティングされる、請求項１から８のいずれか一項に記載の乾燥インク。

【請求項１０】

マクロ着色剤のデジタル形成されたプリント（Ｐ）を備える表面（２）を有するパネル（１）であって、前記マクロ着色剤（６４）は、粒体（６６）と、前記粒体（６６）の上面および下面に付着された着色顔料（１２）とを備え、前記マクロ着色剤（６４）はパターンで配設されるパネル（１）。

【請求項１１】

前記粒体（６６）は、木質繊維（６１）を含む、請求項１０に記載のパネル。

【請求項１２】

前記粒体（６６）は、鉱物粒子（６３）である、請求項１０または１１に記載のパネル。

【請求項１３】

前記マクロ着色剤（６４）は、２０ミクロンを超える長さまたは直径を有する、請求項１０から１２のいずれか一項に記載のパネル。

【請求項１４】

前記マクロ着色剤は、マクロ着色剤が重なり合った固体プリントを形成する、請求項１０から１３のいずれか一項に記載のパネル。

【請求項１５】

前記パネル（１）は、積層床または木質床、粉体系床、タイルまたはＬＶＴ床である、請求項１０から１４のいずれか一項に記載のパネル。

【請求項１６】

前記パネル（１）の表面（２）は木質繊維（６１）を備え、前記マクロ着色剤（６４）は、前記表面（２）内にプレスされる、請求項１０から１５のいずれか一項に記載のパネル。